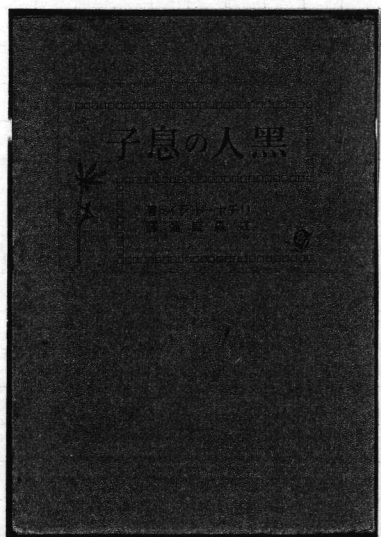


江本盛彌 （後の） 評論家、詩人。明治二十六年八月十八日東京生れ、昭和二十五年四月五日歿（一九三二）。筆名エモリ・モリヤ、植馬千吉等。逗子胤叙中学校中退。雑誌『文藝解放』、『左翼藝術』創刊同人。戦前戦中毎二檢閲。昭和二十一年日本共産黨入黨。『人民新聞』編輯長、民生主義文化運動會書記長など。

著譯書『社會政策』（昭和十二年九月十八日ニ書書房『ニ書全書』）、リチャード・ライト作『悪人の息子』（譯、昭和十五年二月十六日非凡閣）、詩集『わたしは風に向つて歌ふ』（昭和二十二年二月十五日伊藤書店『人民群書』）、『人生論第一章』（昭和二十二年十二月十日伊藤書店）、『十字架の人―キリスト』（エモリ・モリヤ名、昭和二十四年十二月一日伊藤書店『少年少女傳記讀本』）、『詩人の生と死』（昭和二十四年九月十五日新読書社）等。



黒人の息子